

宮城県かかりつけ医等発達障害対応力向上研修について

1 目的

県内の発達障害児者が日頃受診する医療機関のかかりつけ医を対象に、国立精神・神経医療研究センターで行われた発達障害に関する研修の内容に基づく研修を実施し、発達障害児者支援の充実を図るもの。

2 受講対象者

宮城県内の医療機関に勤務する小児科医、精神科医及び心療内科医

3 日程及び会場

日 時 平成29年12月1日（金）午後7時から午後9時まで

場 所 宮城県行政庁舎1階 みやぎ広報室（仙台市青葉区本町三丁目8-1）

4 内容

行政説明「宮城県における発達障害支援について」

宮城県保健福祉部障害福祉課在宅支援班

特別講演「児童思春期における診療と支援」

宮城県立精神医療センター 医療部長 大塚 達以氏

5 受講者

医師34名 発達障害者支援センター職員2名

6 アンケート結果

別添のとおり

平成29年度宮城県かかりつけ医等発達障害対応力向上研修
アンケート結果

回収率75.0%(27/36)

(1) 宮城県における発達障害支援について

参考になった	やや参考になった	あまり参考にならなかった	参考にならなかった
13(50%)	12(46%)	1(4%)	0(0%)

(理由)

- ・連携について、診断つかないで経過すること、医師以外の対応について知った。
- ・概要について分かりました。
- ・支援の現状がよく分かりました。
- ・宮城県の支援について知ることができた。
- ・実際に医師と行政がどう関わり合っているか知らなかったので、役に立ちました。
- ・えくぼの内容を知り、参考になった。
- ・支援のしくみが理解できた。
- ・システムを知らなかったため。

(2) 児童思春期における診療と支援

参考になった	やや参考になった	あまり参考にならなかった	参考にならなかった
18(67%)	6(22%)	3(11%)	0(0%)

(理由)

- ・診療の全体的な考え方など非常に参考になりました。
- ・発達障害について一通り研修することができた。
- ・全体的なところから、実用的な知識まで幅広く学べました。
- ・幅広く理解することになり、大変ためになりました。
- ・本人の行動を把握し、環境整備を行うことが何より大切だと分かりました。
- ・貴重なお話をありがとうございました。支援の課題以降のお話は、本当にその通りであると考えております。
- ・疾患特性や対応法が理解できた。
- ・ADHDの話をもっと聞きたかった。
- ・初心者であるため、知らなかったことが多かった。
- ・臨床的な話も聞いてよかった。ADHDのRCTの結果は興味深かった。
- ・もう少し具体例が聞きたかった。
- ・具体的な子どもさんの例を挙げてお話いただいたので、良かったです。

(3) その他(ご意見、ご感想など)

- ・東京2日間と比べると申しわけないですが(それを受けてきた)。時間が少ないことを考えると、もう少し的を絞ってほしかった。
- ・定期的にこのような研修を開催して頂ければ幸いです。
- ・広範な内容のため、時間が足りなかった。
- ・具体的な事例を知りたかった。
- ・100分は長いです(途中break欲しい)。
- ・クリニックで自分が何をすべきか、何ができるのかが明確にならなかった。
- ・大人の発達障害をテーマに研修して欲しい。
- ・早期発見を言うことは大切ですが、閾値下のニーズを知り対応ということと、どうやって共存させるかが問題だと思います。生活障害を出さない方策を知ることが大切だと思います。
- ・グリーンとオレンジのスライドが特に興味深かったです。
- ・ひきこもり、不登校についても、研修をお願いしたいです。